

2008年3月期 中間決算

2007年11月12日

 住友軽金属工業株式会社


目次

1 . 中間決算〔連結〕

2 . 中間決算〔単体〕

3 . 通期予想

4 . 2010年計画進捗状況



1. 中間決算 (連結)

連結子会社

連結対象

20社

19社

加工等

日本アルミ (産業機器・建材)

住軽アルミ箔

住軽エンジニアリング (ハニカム)

岩井金属工業 (パネル・電機部品)

ティネン工業 (電機部品)

群馬アルミニウム (押出形材)

東洋フイツテング (銅管継手等)

新日東金属 (黄銅棒等)

07年10月にサンエツ金属に事業譲渡

日本トレクス (トレーラー・トラックボディ)

07年4月に極東開発に営業譲渡

流通

住軽商事

新泉アルミニウム

スミケイ銅管販売

海外

SLMA (アルミ製錬)

スミケイチェコ (多穴管)

スミケイマレーシア (銅管)

スミケイ広州 (銅管)

08年3月期中間決算のポイント

1. 売上高は地金価格の上昇はあるものの、子会社(日本トックス)譲渡により減収。
2. アルミ製錬子会社の増益で経常利益は最高を更新。
3. 有利子負債削減は堅調。

売上高・損益

(単位：億円)

連結	06年上期	07年上期	増減	伸率%
売上高	1695	1683	12	1
				内地金高騰分 + 8%
営業利益	89	99	10	+11
経常利益	61	82	21	+35
中間 純利益	35	25	10	30
設備投資	51	55	+5	
減価償却費	37	42	+5	

部門別売上高

(単位：億円)

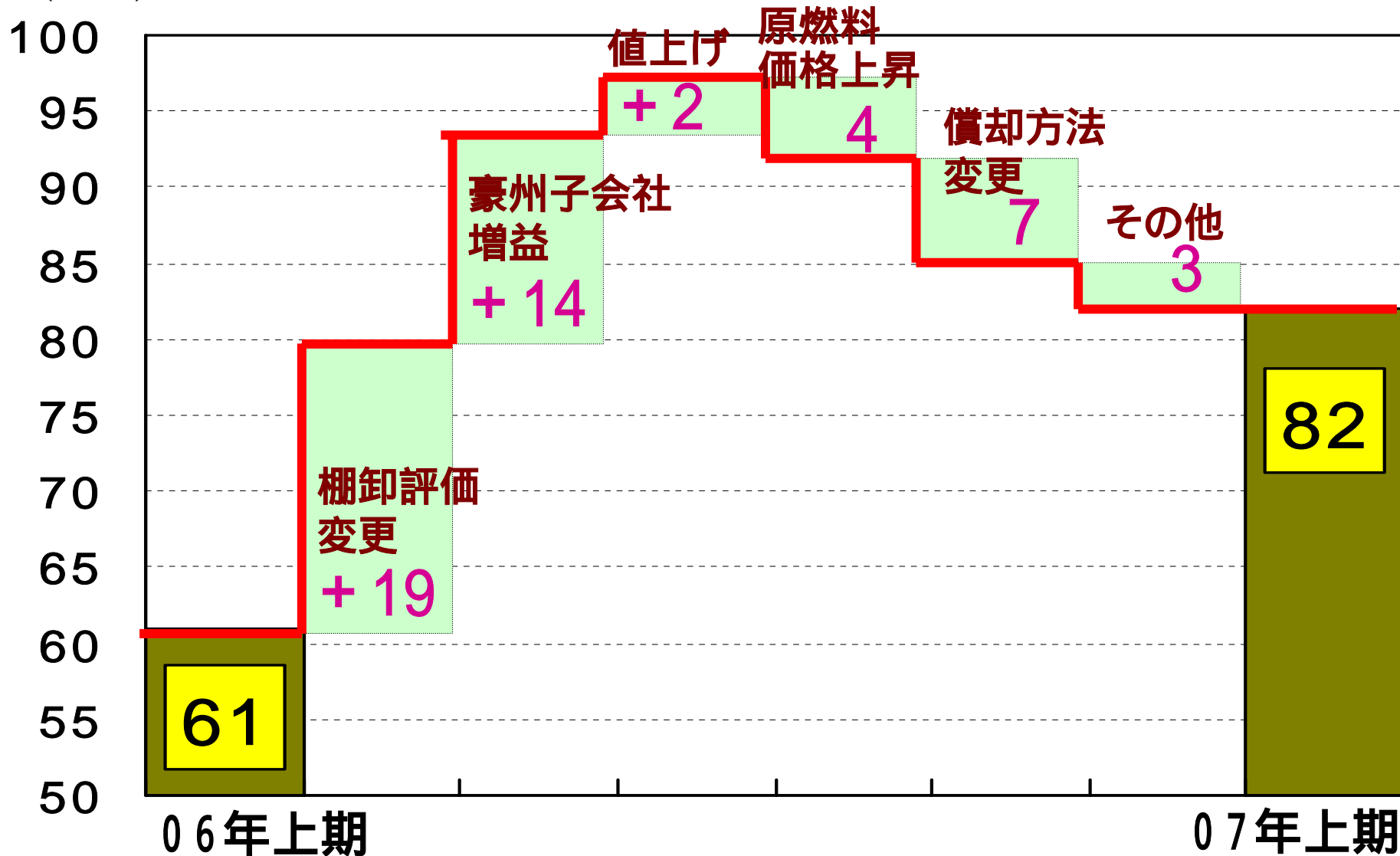
連 結	06年上期	07年上期	増 減 (対前年伸率)
アルミ圧延品	8 6 4	9 1 9	5 5 (+6%)
伸 銅 品	3 6 3	4 2 9	6 7 (+18%)
加工品他	4 6 8	3 3 5	1 3 3 (-28%)
合 計	1 6 9 5	1 6 8 3	1 2 (-1%)

損益分析

61億円(06上期)

82億円(07上期)


(億円)



B / S 主要項目

(單位：億円)

連結	07年3月末	07年9月末	増減
純資産	536	564	28
純資産率	12.7%	14.0%	—
総資産	4210	4017	193
有利子負債	2054	1911	143



2. 中間決算 (単体)

売上高・損益

(単位：億円)

単 体	06年上期	07年上期	増 減	伸率%
売 上 高	1 1 2 1	1 2 2 0	9 9	+ 9
				内地金高騰分 + 10%
営 業 利 益	6 1	5 6	5	8
経 常 利 益	4 2	4 3	1	+ 1
中 間 純 利 益	1 7	2	1 5	8 8

販売量

(単位: 千トン)

単 体	06年上期	07年上期	増 減	伸率%
アルミ板	166	165	0	0
アルミ押出	25	23	2	9
伸銅品	31	29	2	7

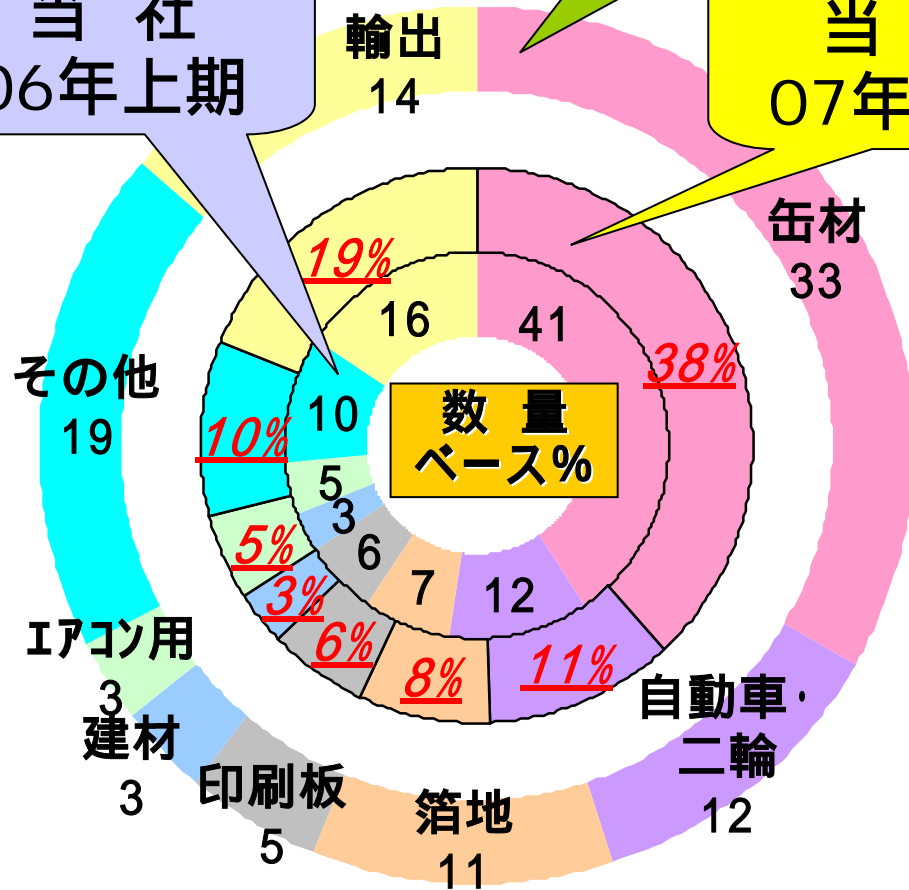
売上構成

アルミ板

業界
07年上期

当社
06年上期

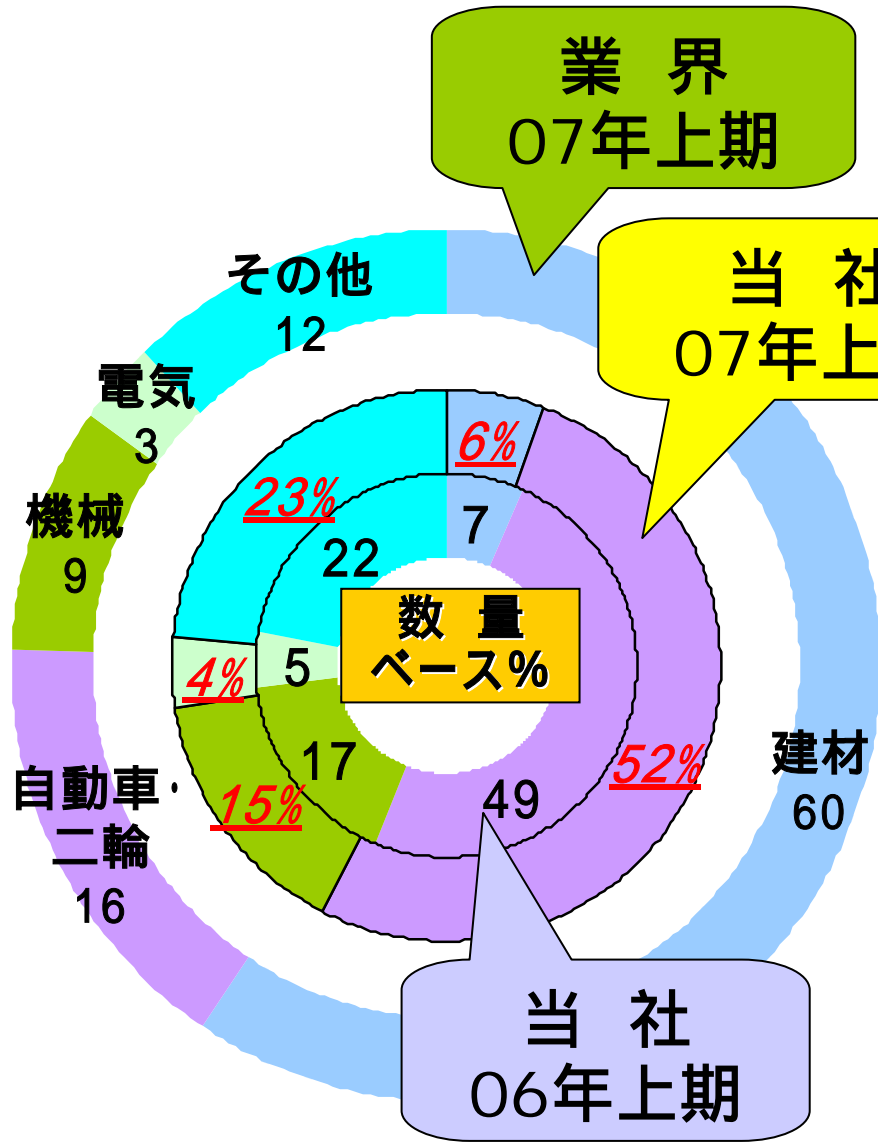
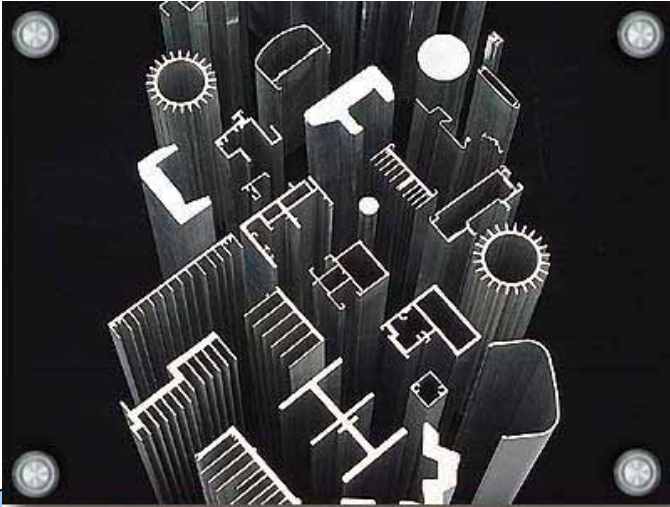
当社
07年上期



< 当社注力分野例 >

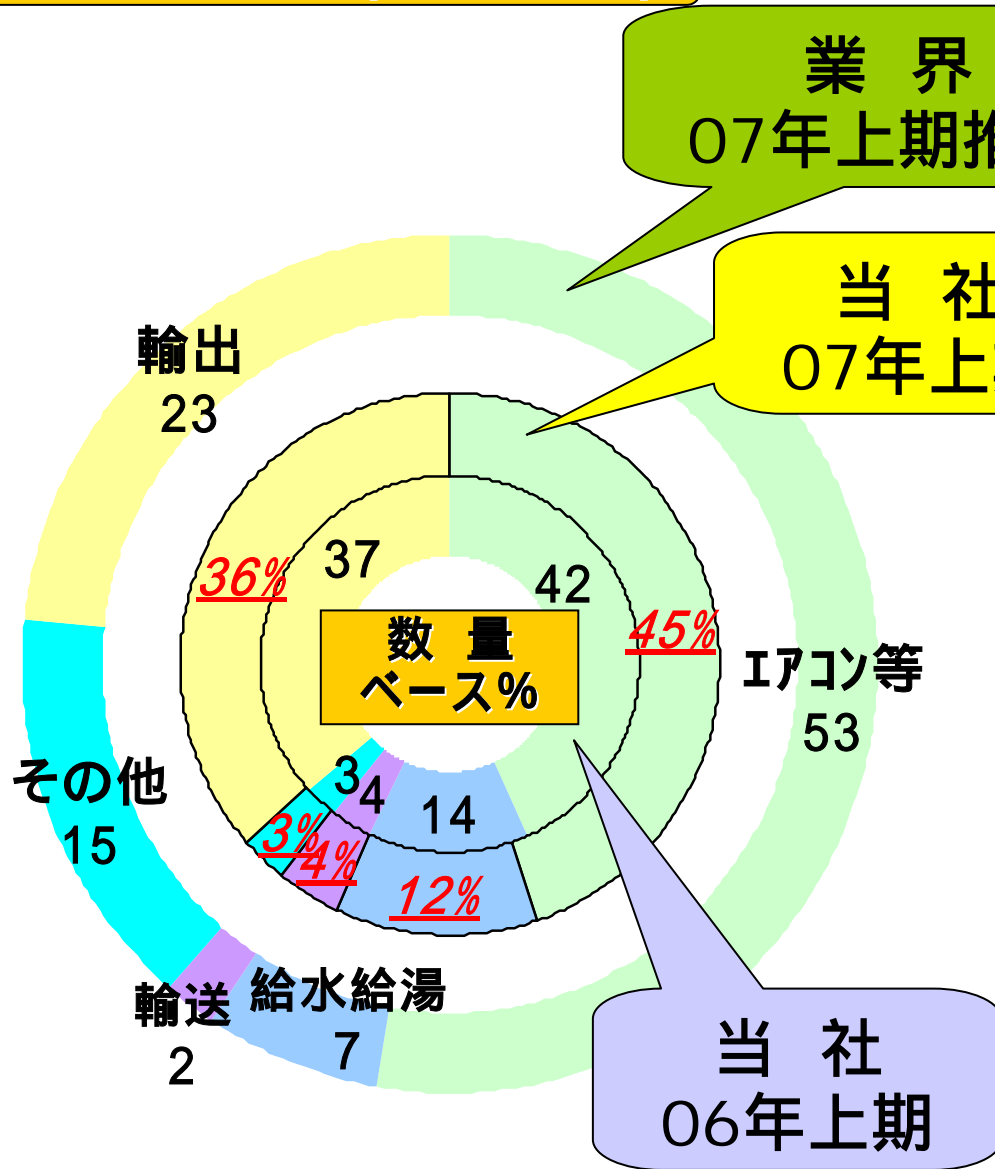
- 缶材
- 印刷板
- 塗装フィン材
- 自動車材

アルミ押出



- < 当社注力分野例 >
- 自動車熱交材
 - 自動車足回り部材
 - アオリ
 - 二輪用部材
 - 機械用部材

伸銅品(銅管)



< 当社注力分野例 >

- 高性能エアコン用
- エコ給湯用
- 建築用
- コンデンサー用



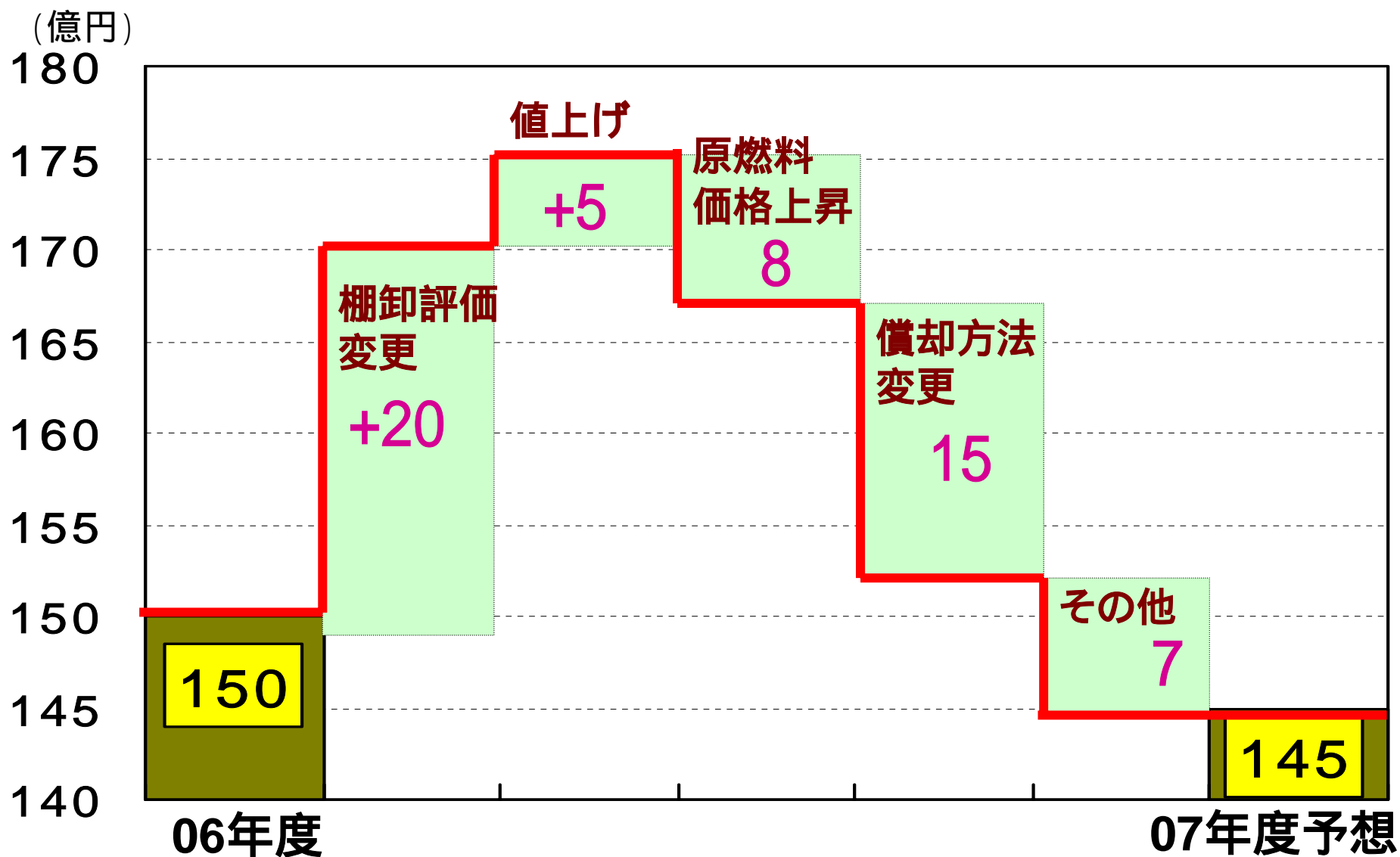
3. 通期予想

(单位：億円)

連 結	06年度 実績	07年度 予想	対前年 %
売 上 高	3 4 9 1	3 3 0 0	5
営 業 利 益	2 0 1	1 9 5	5
経 常 利 益	1 5 0	1 4 5	3
当 期 純 利 益	7 2	5 5	24
設 備 投 資	9 1	1 1 2	
減 価 償 却 費	7 3	8 6	

損益分析

150億円(06年) 145億円(07年予想)



(単位：億円)

単 体	06年度 実績	07年度 予想	対前年 %
売 上 高	2 2 9 5	2 5 0 0	+9
営 業 利 益	1 2 7	1 1 0	13
経 常 利 益	8 7	8 0	8
当 期 純 利 益	2 5	2 0	20
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	3	3	
設 備 投 資	7 5	1 0 0	
減 価 償 却 費	4 9	6 4	

販売の計画量

(単 位: 千ト)

単 体	06年度 実 績	07年度 予 想	07年度 見直し	対前年 増 減
アルミ板	330	338	338	+8
アルミ押出	49	52	47	2
伸銅品	62	64	61	1



4. 2010年計画 進捗状況

基本構想

ありたい姿

「ナンバーワン事業ユニットの集合体」

(お客さま満足度ナンバーワン)

選択と集中

各事業ユニットの「将来性」「採算性」「競争力」を吟味

- 技術開発力、生産技術力
- 全体最適・マーケットイン
- 人材確保・育成・やりがい

基本方針

技術開発力の強化 重点事業ユニットの強化

- < 板 > 冷間圧延機(薄板専用)更新 {10/4稼動予定}
- < 箔 > PTP対応塗装ライン導入 {08/8稼動予定}
- < 押出 > フロントフォーク専用ライン導入 {07/9稼動}
- 自動車熱交用多穴管専用押出機(国内5台目) {07/9稼動}
- < 伸銅 > 中国(広州)銅管転造機増設 {07/3稼動}

内部統制・コンプライアンスの強化・確立 更なる有利子負債の削減

2007年度 連結 167億円

グループ経営資源の有効活用と再構築

- ・日本トレクス 株式譲渡 {07/4}
- ・新日東金属 事業譲渡 {07/10}

数値目標

(単位: 億円)

【連結】	06年度 実績	07年度 見直し
売上高	3491	3300
営業利益	201	195
経常利益	150	145
ROA	5%	5%
有利子負債	2054	1886
純資産比率	12%	13%

10年度 目標
3900
235
180
6%
(400 / 4年) 1650
20%

将来見通しに関する注意事項

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。本資料の中には、弊社の予想・確信・期待・意向及び戦略など、将来の予測に関する内容が含まれております。これらは、弊社が説明会の時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて作成されており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまふ可能性があります。弊社は、将来予測に関する如何なる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。本資料に関する著作権・商標権その他全ての知的財産権は、当社に帰属します。